

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	2 0	学校名	宇都宮市立明保小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	------------

令和5年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

心身ともに健康でたくましく、確かな学力と豊かな人間性を持ち、ともに支え合いながら変化する社会を主体的に生き抜く児童の育成。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・健康でたくましい子
 - ・進んで考え最後までやりぬく子
 - ・思いやりがあり誰とでも仲良くする子
 - ・ふるさとの人や自然を大切にする子
- 《合い言葉：元気・やる気・勇氣・思いやり》

2 学校経営の理念

「元気いっぱい 学びしっかり やさしさいっぱい だれもが輝く明保小」を目指し、家庭・地域の信頼と協力のもと、誰もが夢や希望を胸に喜びとやりがいを持つて生き生きと生活し、成長できる学校を創る。

○児童が意欲的に取り組む教育活動を展開し、「知・徳・体」の調和の取れた力強く生き抜く力を養う。

○教職員が、人権尊重を基盤に、チームの一員としてやりがいを持ち専門性を磨き、教育に邁進することにより、保護者や地域からの信頼を得る。

3 学校経営の方針

「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」「令和5年度指導の重点」を踏まえるとともに、地域学校園における9年間の成長を見据えた特色ある教育課程の編成・実施・改善に努める。

- (1) すべての児童が安心して明るく学校生活が送れるよう、環境を整え、目指す児童像実現に向けて児童の成長に資する取組の充実を図る。
- (2) 「がんばった」「嬉しい」「感動した」等の体験により、自己肯定感・自己有用感や豊かな心を育み将来への夢が描けるよう、教育活動の質を高め、認め励ます教育を推進する。
- (3) 学業指導を基盤に、学習意欲を高めつつ知識・技能を確実に身に付け、思考力・判断力・表現力等を育む教育活動を推進する。
- (4) 児童の人権を尊重し、教育的ニーズを踏まえた個に応じた指導により、児童・保護者との良好な人間関係を築き信頼される学校づくりを進める。
- (5) 教職員が倫理観と使命感を持ち、資質・能力向上を高めるよう研鑽を積むとともに、校務の重点化・焦点化を推進し、やりがい持ち、児童と向き合う時間の充実を図る。
- (6) 支えてくれる方々に感謝し、郷土を愛する心を養えるよう、宮の原地域学校園、魅力ある学校づくり地域協議会等との連携により、ふれあい活動等の充実を図る。

【宮の原地域学校園教育ビジョン】

心豊かで輝く子供の育成 ～ほめて伸ばす（自己肯定感を高める）～

【重点課題】

- ★基礎的・基本的な学力を身に付けさせる。（自ら学ぶ児童・生徒の育成）【学力向上部会】
- ★思いやりを高め規範意識の向上を図る。【学校生活適応支援部会】
- ★継続した筋力向上をめざし、健康で安全な生活を営ませる。【健康・体力・食育促進部会】
- ★小中および地域の交流促進を目指し、情報共有化を図る。【交流連携促進部会】
- ★学校事務の効率化・平準化を図り、学校づくりを支援する。【地域学校園事務室部会】

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育関係所法令や学習指導要領、とちぎ教育ビジョン 2025、第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画・学校教育スタンダード等に則し、本校教育目標の実現に向けて編成する。
- (2) カリキュラム・マネジメントの視点に立ち、思考力・判断力・表現力等と問題解決能力を高めるために、各教科・各領域等の関連を図った教育活動を展開する。
- (3) 創立 150 年の歴史と伝統を踏まえ、学校・地域・児童の実態を適切に把握し、特色ある教育課程を編成する。
- (4) 学校教育活動全体を通じた組織的な PDCA サイクルの活性化により教育課程の実施状況を評価し、必要な人的・物的な体制を確保するとともにその改善を図っていく。
- (5) 教育活動実施時数は、宇都宮市小中一貫カリキュラムを基準として編成し、1年生は安全上2年生と同様に、予備時数は基礎的・基本的内容の徹底（国・算）を中心に計画的に運用する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営【児童と教職員が生き生きと活躍できる学校】
 - ・児童一人一人のよさを伸ばす教育の実践と誠実な行動により、信頼される教職員集団であり続けるために努力する。
 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICTを効果的に活用するなど、質の高い授業を提供できるよう、校内研修並びにOJTによる指導力向上とチーム明保としての同僚性の強化を図る。
 - ・地域とともにある学校づくりを具現化するために、PTAや地域人材、大学・団体等の教育資源を積極的に活用した教育の充実により、特色ある学校づくりを推進する。
 - ・教職員が健康で働きがいを持ち、質の高い教育が持続できるように、働き方改革を推進し、業務の適正化・効率化を図る。
- (2) 学習指導【自ら考え学び合い、表現する児童の育成による学力の向上】
 - ・「宇都宮モデル」の活用により、学習の目標を児童と共有し、課題にじっくり取り組み学び合う活動を保障して、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。また、「考えるための道工具箱」（比較する・分類する・つなげる・多面的に見る・理由付ける等）の活用による思考力・判断力等を育成する。
 - ・令和2～4年度に実施してきた話し合い活動の充実を継続しながら、自分の考えを書く力を向上させる。
 - ・ねらいを明確にした実験・観察・体験・調査・製作・実習等による実感を伴った学びを充実させる。

- 「明保小学習スタンダード」に基づいた基本的な学習態度の指導と互いに認め合う児童の育成により、学びに向かう集団を作る。
 - ・1人1台端末を学習のねらい達成ために効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図った授業づくりを実施する。
 - ・個に応じた指導の充実を図る。（「カスタネット通信」の活用）
 - ・朝の学習や家庭学習の充実により基礎・基本の定着を図る。
 - ・夢や目標を持ち自己実現に向け努力する態度を育てるために、キャリア教育を推進する。
 - (3) 児童指導【人との関わりの中で、豊かな心を育てようとする児童の育成】
 - ・多面的・多角的に考える道徳科の授業を核として、異年齢児童や高齢者等、様々な人との関わりふれあう体験活動や読書活動を推進して豊かな心を育む。
 - 「明保小のよい子」の徹底により、規範意識を醸成し基本的な生活習慣を確立する。
- | |
|--|
| 今年度の重点「毎日めざそう5つ☆」，
☆あいさつ・返事 ☆名札 ☆くつ揃え ☆心が温かくなる言葉かけ ☆話の聞き方 |
|--|
- 自己有用感を育む場づくりと認め励ます指導の充実を図る。
 - 一人一人が大切にされ、いじめゼロの実現と不登校を生まない温かい学級・学年風土を醸成する。（情報共有，教育相談，Q－U調査の活用，SCとの連携）
 - (4) 健康（体力・保健・食育・安全）【健康で安全な生活を実現し、逞しく生きる児童の育成】
 - 運動量の多い教科体育の充実と各種検定による体力と運動能力の向上を図る。
 - ・望ましい食習慣の形成と、日常の保健指導（体温計測，歯磨き，手洗い・うがい）の徹底により，健康を管理する能力を育成する。
 - ・自ら仕事を見つけ協力して働く清掃指導や学校に役立つ活動を通して，自己有用感と公共心を育成する。
 - ・安全教育・安全指導を推進し，自他の命を守る判断力と行動力を身に付けさせる。

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

元気いっぱい 学びしっかり やさしさいっぱい だれもが輝く明保小

- (1) 育てたい資質・能力
 - ・自他の考えをもとに主体的に学び合う力
 - ・違いを認め，ともに喜び合い，助け合い，励まし合う態度
 - ・ふるさとへの愛着，誇り，感謝の心
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）
 - ① 3年間の道徳の研究を土台とし，他の教科に広げる「自ら考え学び合う」授業づくり
 - ・話し合う力の育成を継続し，各教科における対話のある授業実践
 - ◇「考えるための道具箱」の活用（比較する・順序立てる・つなげる・関連付ける等）
 - ◇授業の振り返りの実施を中心とした書く機会の設定と，テーマや型の工夫による書く力の育成
 - ・校内授業研究会の実施（学年チームを基盤とした一人一授業の実践）

② 1人1台端末の効果的な活用

- ・授業のねらいを達成するために有効な活用方法を検討
- ・定期的な実践事例の共有
- ・情報担当者やICT支援員によるミニ研修会の実施

③ 異学年交流や多様な人材を活用したふれ合い活動

- ・地域協議会と共催のあいさつ運動

◇各学年と高齢者とのふれあい授業(昔遊び, グランドゴルフ, 輪投げ, 鉛筆削り, 雑巾縫い等)

◇学校支援ボランティアの充実と組織的対応(家庭科, スタートカリキュラム, 読み聞かせ等)

- ・PTA・地域協議会と共催したフラワーロード集会, あじさい剪定

◇異学年・縦割り班活動による体験: 縦割り班遊び・なわとび集会・ありがとう集会

- ・創立150周年行事を通じた愛校心や地域を大切に作る心の醸成

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり

① 基本的考え

- ・教育目標等を保護者・地域と共有し, 地域とともにある学校を目指すために, 地域の教育資源を活用した教育活動の充実に努め, 学校評価を適切に実施・公表し, 教育活動の改善に生かしていく。

② 主な取組

- ・PTA・地域協議会と協働するフラワーロード集会, アジサイの剪定作業, 学校支援ボランティア活動, 高齢者とのふれあい活動
- ・SDGs達成を意識した活動(栽培活動, リサイクル, 節電等)

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

- ・地域学校園教育ビジョン「心豊かで輝く子供の育成～ほめて伸ばす(自己肯定感を高める～)」を具現化するために, 小中学校の教職員が相互理解を深め, 一貫した児童・生徒指導を実践する。

② 主な取組

- ・地域学校園合同あいさつ運動, いじめゼロ運動, 6年生中学校訪問, 職場体験の生徒受入れ, 児童生徒指導強化連絡会, 各校要請訪問における授業参観, 保護者への情報発信

(3) 不登校対策

① 基本的考え

- ・すべての子供にとって居がいのある, 温かい雰囲気 of 学級・学校づくりのために, 市教育センター作成の「不登校対策の手引書」の取組を着実に実施し, 早期発見と組織的な対応に努める。

② 主な取組

- ・一人一人のよさを認め励ます教育, 児童を温かい雰囲気で受け入れ, 信頼関係の構築, 自己の存在意識を実感することができる学級経営の充実
- ・個に応じた多様で適切な教育機会の確保(別室登校支援や1人1台端末の活用)
- ・アンケート, Q-U 検査, 教育相談, 欠席情報共有シートの活用
- ・定期的な児童に関する情報交換やケース会議に基づいたチームでの対応とSC, SSWや関係機関と連携を図った対応

(4) GIGA スクール構想

① 基本的考え

- ・GIGA スクール構想の実現を目指し、協働学習ツール等の積極的な活用により、教科の学びを深めることができるよう指導するとともに、授業外においても1人1台端末を有効に活用するなど取組を着実に推進する。

② 主な取組

- ・「情報モラル教育年間指導計画」に基づき、ネットトラブルや、ネット依存等の防止を含むデジタル・シティズンシップを育成
- ・授業のねらい達成のためのスクールタクトやジャムボード等の活用
- ・教科や学習内容により、AI 型学習ドリル等を計画的・効果的に活用
- ・ミニ校内研修の実施や先進校の授業参観

(5) 宇都宮学

① 基本的考え

- ・各学年の発達段階に応じた「宇都宮学」に取り組み、児童が郷土への愛情と誇りを持てるようにする指導の充実を図る。

② 主な取組

- ・「道徳科地域教材」を用いた授業を通じた地域の教育資源や資料等の活用
- ・伝統を継承する人の生き方に触れる体験的な活動の推進
- ・教科横断的な郷土の歴史、文化、伝統、産業、風土についての学習